

福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 6 月 25 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (6/25 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.0 m ³ /h	35.0	106.8 kPa abs	A系:0.00 vol% B系:0.00 vol%
		給水系：約 3.6 m ³ /h			
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 5.2 m ³ /h	48.1	4.95 kPa g	A系:0.28 vol% B系:0.28 vol%
		給水系：約 3.1 m ³ /h			
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 4.8 m ³ /h	51.9	0.24 kPa g	A系:0.21 vol% B系:0.20 vol%
		給水系：約 3.8 m ³ /h			

*:絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (6/25 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	24.0
2号機	循環冷却システム	運転中	24.7
3号機	循環冷却システム	運転中	23.3
4号機	循環冷却システム	運転中	32

*各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
2号機	2号機タービン建屋	集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)]	6/16 15:12 ~ 移送実施中
3号機	3号機タービン建屋	集中廃棄物処理施設 [プロセス主建屋]	6/25 10:13 ~ 移送実施中
6号機	6号機タービン建屋	仮設タンク	6/25 10:00 ~ 16:00 移送実施

- ・6/25 10:00~17:00 集中廃棄物処理施設において、サイトバンカ建屋からプロセス主建屋へたまり水の移送を実施。
- 【4号機】・6/22~ 燃料取り出し用カバー設置のための地盤改良工事の一環として、防災ピットの撤去を行うために現場を確認したところ、同ピット内に海水または雨水と思われる滞留水(約90m³)を確認。同ピットの撤去を行うためには、滞留水を移送しなければならないことから、タービン建屋地下へ移送を実施。なお、移送は約1週間かけて実施する予定。
- 【6号機】・6/22 10:00 6号機タービン建屋地下の溜まり水について、仮設タンクへ移送を開始したが、10:45、仮設タンク間を関係するポンプの不具合により、移送を停止。その後、原因調査を行ったところ、特に当該ポンプに問題は見つからず、15:30 頃に再起動させたところ、通常通り動作したことから、一過性の不具合と判断。
- ・6/25 10:00 6号機タービン建屋地下の溜まり水について仮設タンクへの移送を開始したところ、当該ポンプに問題がないことから、通常運用を再開した。

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (6/25 7:00 時点)

設備	セシウム吸着装置	第二セシウム吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	停止中	運転中*	停止中	水バランスをみて断続運転	水バランスをみて断続運転

*フィルタの洗浄を適宜実施。

- H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。
- H24/6/21 12:05 H1スキッド内のバルブ交換工事を行うために、セシウム吸着装置を停止。停止期間は約1ヶ月の予定。なお、バルブ交換工事期間中は第二セシウム吸着装置による処理を継続予定であり、滞留水処理、原子炉注水については問題ない。

<5. その他>

- H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5、6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- H24/2/23～ 6号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- H24/3/6～ 5号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- H24/3/14～ 港湾内の海底土拡散防止を目的として、固化土(被覆材)による海底土被覆工事の本格施工に着手。
- H24/4/25～ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。
- H24/6/18 9:54 5号機の補機冷却海水系について、6/18から6/28までの予定でストレーナ駆動部の修理のため、停止。これにより使用済燃料プール冷却系が停止するため、この期間中、使用済燃料プールの冷却は残留熱除去系により実施。その際、原子炉及び使用済燃料プールの冷却は残留熱除去系により交互に切り替えて実施するが、原子炉水温度は最大 60℃程度、使用済燃料プール水温度は最大 31℃程度と評価しており、温度管理の観点から問題はない。
- H24/6/25 6号機補機冷却海水系ポンプ(B)の復旧作業が完了したため、6/25 10:12、試運転を開始。11:40、運転状態に異常がないことを確認。13:11、当該ポンプを停止し待機状態とした。

以上